

♪♪ 令和3年度早川南小学校だより ♪♪

はるき



令和4年2月14日

No.37

校長 河西 弘明

ICT機器を駆使して！



…1150Kmを飛び越えてオンライン交流！ ～長崎県生月小学校と学習発表会～

先週2月8日、全校のみんなが、オンラインで長崎県生月小学校の5年生と、とても楽しい時間を過ごしました。イメージとしては、テレビ中継でつながって画面越しにご対面という感じで、お互いが、総合的な学習の時間で調べてまとめた自分たちの住む地域について発表し合いました。



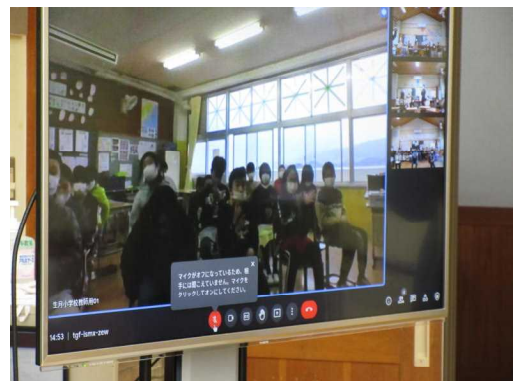
僕は戦争について調べました！

本校では、例年2学期末に「春木っ子タイム」の発表会を行っていますが、今年度はこの交流会のために、2月まで延期していました。児童の興味のあることを調べるため、今年は3～6年生13人が5つの班に分かれ、地域の特産品や歴史など、まさに地域を深く掘り下げて、地域の方々や資料から共に学んだ内容を、力を合わせて自分達の力でまとめ上げたものです。今年のグループテーマは、次の5つでした。

- ①特産物グループ…山ぶどう、ポポ、ジビエ、島根芋、白鳳味噌、なめこの特徴や食べ方について
- ②動物グループ…カメラを仕掛けて観察した早川に生息する動物（鹿・猿・熊・ムササビ等）について
- ③伝説グループ…七面山の名前の由来や龍の池はどこにあるのかという謎について
- ④硯・金山グループ…雨畑硯の製作工程や特徴と、町内にあった5つの金山について
- ⑤戦争グループ…早川町で戦争で亡くなった人の数や、残っている戦争の史跡等について

どのグループも、とても詳しく丁寧に調べてあって、地域の人にお話を詳しく聞いた成果がよく分かります。私も、初めて聞くことがたくさんあり（例えば七面山の名前の由来、7つの池の水面からつけたことなど）、勉強になったということが第一の感想です。

しっかりと調べた自信からか、本校の子どもたちも発表する姿勢や声はとても堂々としていて、生月小の皆さんにもよく伝わったことと思います。その甲斐あってか、発表後には、画面を通



して、生月小からたくさんの質問や感想を

寄せてくれ、南小の子どもたちも嬉しそうにしていました。

一方、生月小学校5年生からは、長崎県平戸市の産業である漁業や、地域の環境、歴史に関する事や伝承話など、様々な領域について、写真とクイズで発表してくれました。当たり前ですが知らない事ばかりで、本当に勉強になりました。

←指の本数でクイズに答える南小の様子

**窓の外には海が見える教室から
生月小5年生の元気な22人**

とても元気で明るい子どもたちで、「南小の子どもたちと同じだなあ!」と思いながら、私も真剣にクイズに答えました。

生月小のある生月島は、地図で見ると隣の島とは橋でつながり、周囲は海に囲まれています。山に囲まれた早川町とは、正反対のところですよ。昨年4月に、「山の学校と交流したいのですが…」と生月小の校長先生から電話があり、私たちも初めての体験だし、遠くの学校と交流できる事は、なかなかないのでお引き受けすることにしました。今回のリモート交流会が実現し、本当に、子どもたちにとっても私たち教職員にとってもよい機会となりました。



事前に生月小の校長先生より、学習の糧にと「巻き網船団」のクリアファイルをいただきました。こちらからも、町の生涯学習課に頼んで、お礼に早川町の観光パンフレットを何種類か送らせていただきました。お互いに知らない町の様子を、それらの資料や今回の発表で知ることができたことは実のある学習となり、子どもたちにとっても例年とは一味も二味も違った、春木っ子タイム発表会となりました。

10月の顔合わせから時間が経っていたので、最初にアイスブレーキングで簡単な絵を描くレクをして、和んだところから始めました。感想発表では、お互いに、「楽しかった」、「いい経験になった」、「山梨に行ってみた」、「海水浴場があつていいなあ…」など、子どもたちの素直な感想が聞かれ、交流会の最大の成果だと感じました。

1150kmの距離を飛び越え、長崎県の子どもたちと友だちになれた気がしています。生月小の皆さん、本当にありがとうございました。

送ったパンフレットと、いただいた船団クリアファイル(右)→



読書のすすめ…最後は矢野先生より!

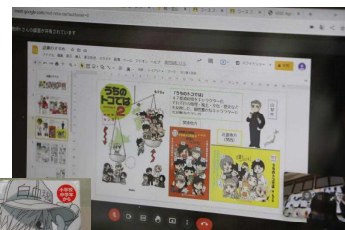
同じ日に、もう一つのオンラインがありました。それは、校内での初オンライン読書のすすめが開催されたことです。

8日の朝は、今年最後の読書のすすめで、矢野先生がタブレットから本を紹介してくれました。矢野先生が紹介してくれた本は、子どもたちが気軽に読書に親しめるようにと、漫画やキャラクターがたくさん描かれた本で、図鑑形態のものをいくつか、シリーズで紹介してくれました。私もその中の、「初めての感染症図鑑」を手にとって読ませてもらいましたが、普通に勉強すればちょっと難しい内容の病原菌のことを、キャラクターに模して、小学生にとっても、わかりやすく説明してくれています。(著者はなんと、あの岡田晴恵さんです。)矢野先生らしい選書に、思わず納得でした。

子どもたちも、タブレットを覗き込みながら、「これ読んでみたい!」とつぶやいていました。読書のきっかけにして欲しいと思います。



今日紹介する本は…!



温かい教室で、リラックスして聞くことができました